

第5次

瑞穂町長期総合計画策定に 関する住民意識調査

(令和元年11月 **速報値**)

※数値は速報値のため、今後の精査の結果、変更になることがあります。

1. 調査の概要

①対象人数

3,000人

②抽出方法

令和元年7月12日現在、町内在住の18歳以上の中から無作為抽出

③調査期間

令和元年8月28日(水)～9月9日(月)

④配布・回収方法

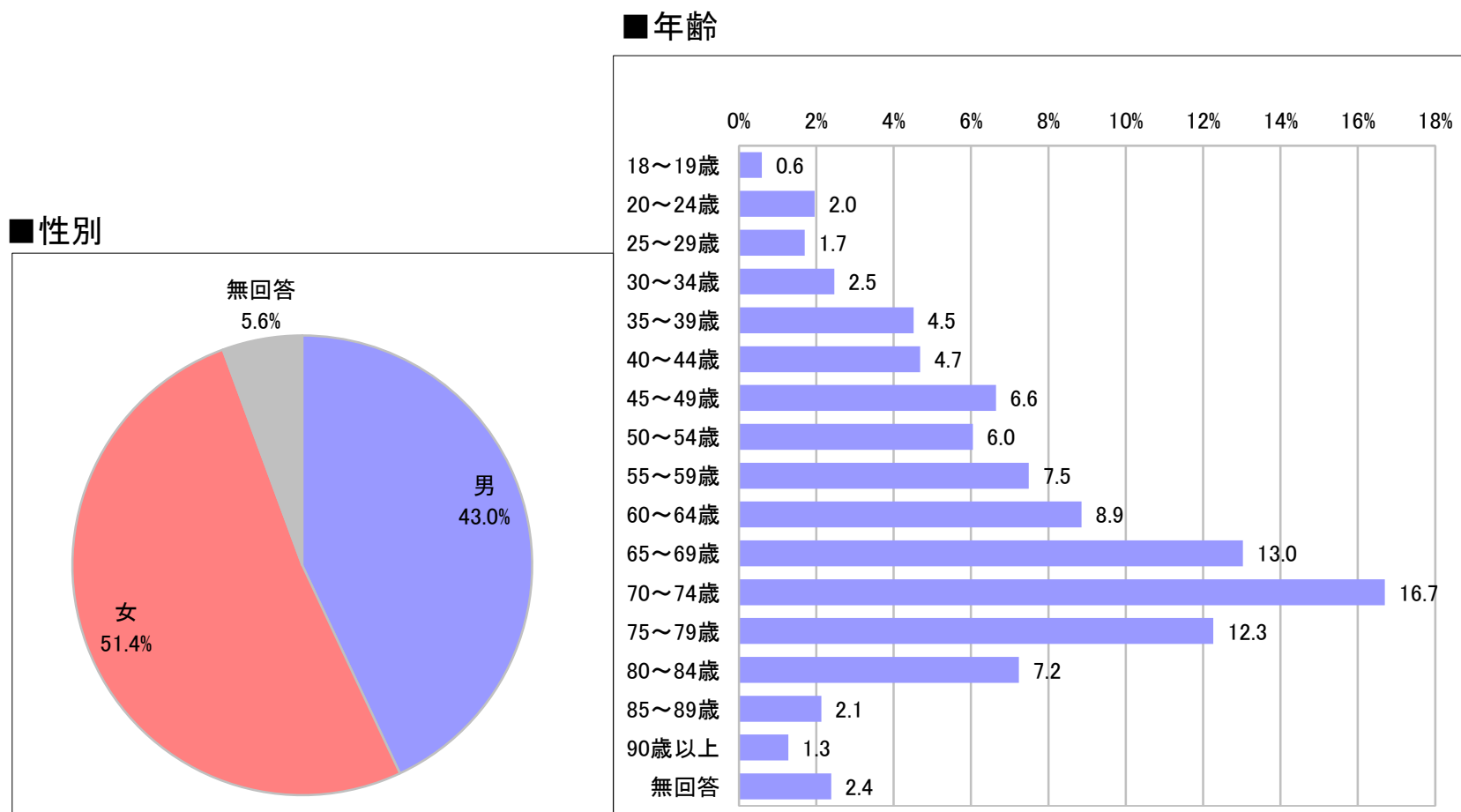
郵送配布・回収、WEB回答

⑤回収率

1346票 (44.9%) うち、WEB回答は172票(12.8%)

2. 回答者の属性

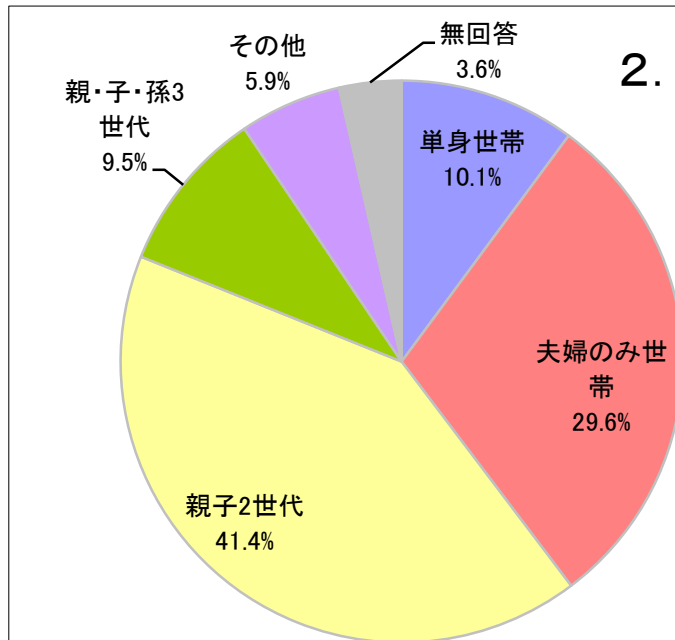
- ・回答者の年齢は、65歳～79歳の層が多く、性別が女性がやや多い



2. 回答者の属性

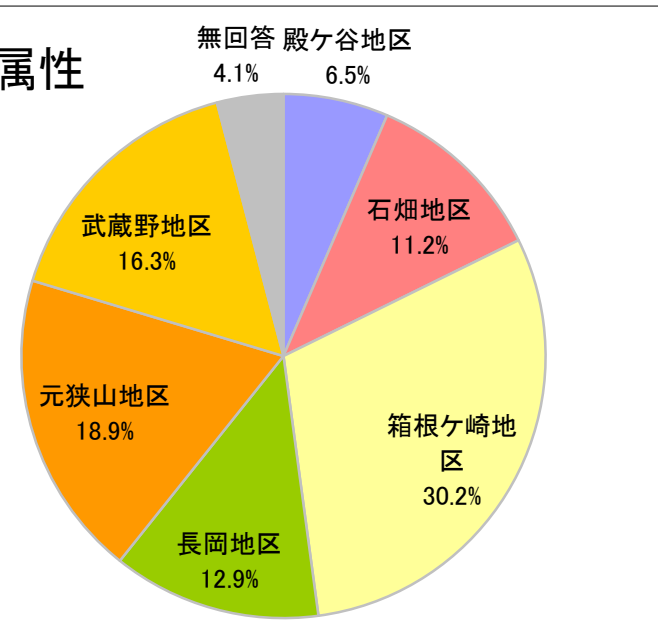
- ・家族構成は親子2世代世帯が最も多く、次いで夫婦のみ世帯。
- ・居住地区は箱根ヶ崎地区が最も多く、次いで元狭山地区。

■ 家族構成



■ 居住地

2. 回答者の属性

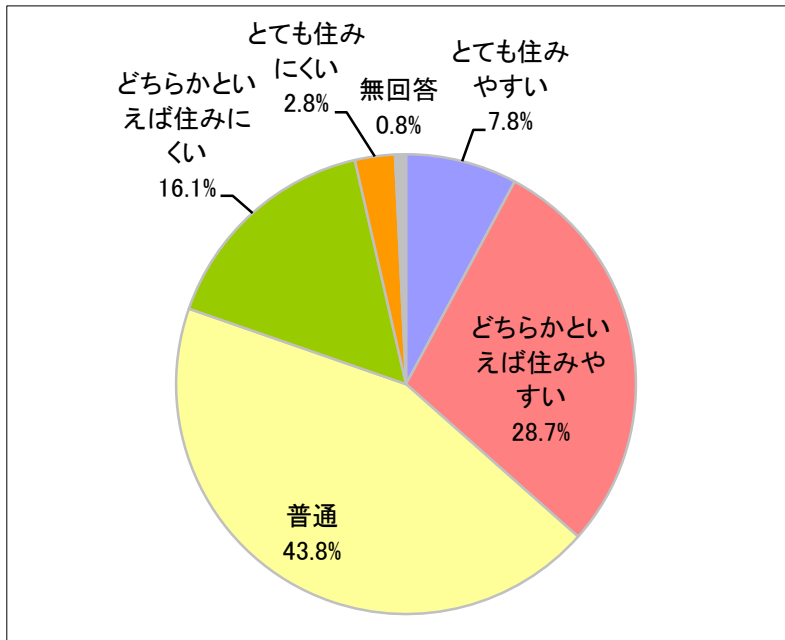


I. 瑞穂町での生活

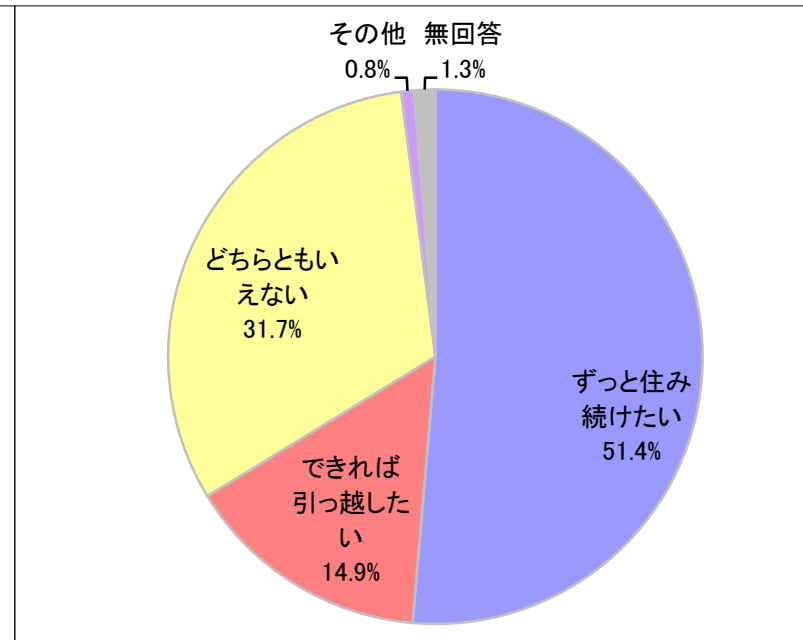
1) 永住意向

- ・住みやすさは「普通」が最も多く、次いで「どちらかといえば住みやすい」となっている。
- ・永住意向は「ずっと住み続けたい」が5割、「どちらともいえない」が3割となっている。

■ 問1 住みやすさ



■ 問2 永住意向

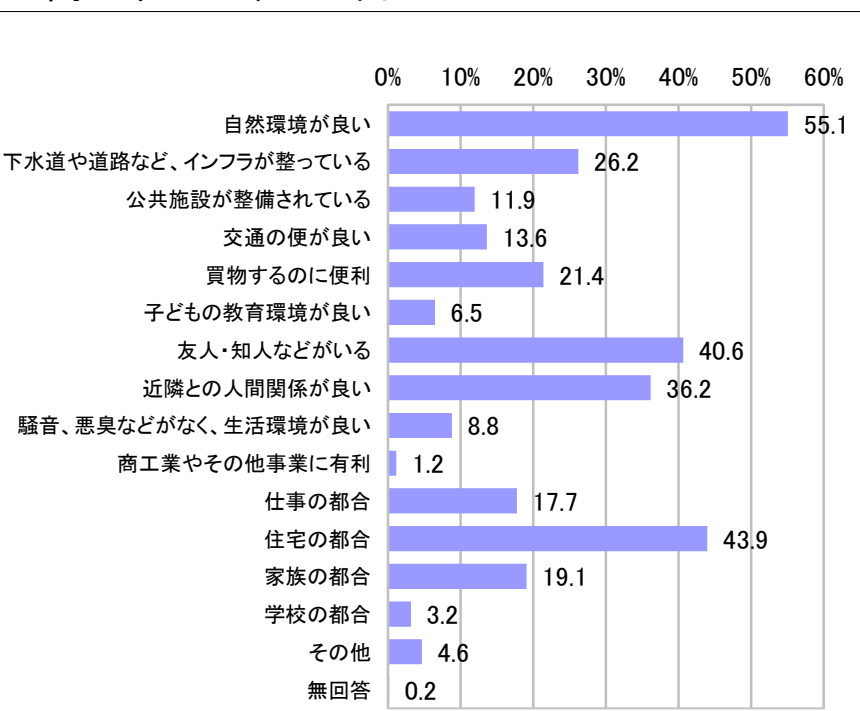


2) 住みやすい/住みにくい理由

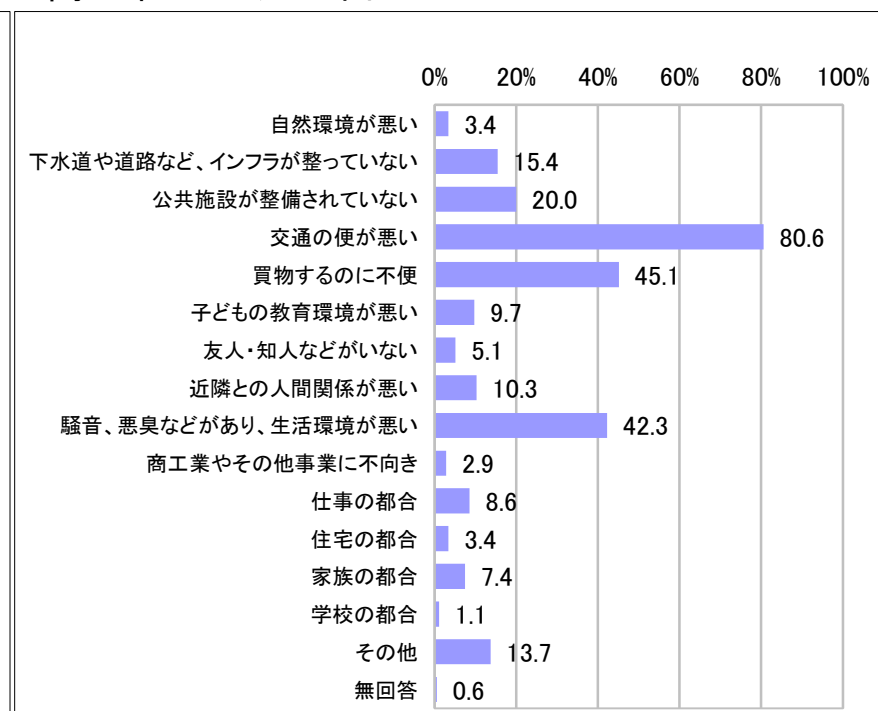
・住みやすい理由は「自然環境が良い」が5割、「住宅の都合」が4割となっている。

・住みにくい理由は「交通の便が悪い」が8割、「買い物するのに不便」が5割となっている。

■ 問2-1 住みやすい理由



■ 問2-2 住みにくい理由

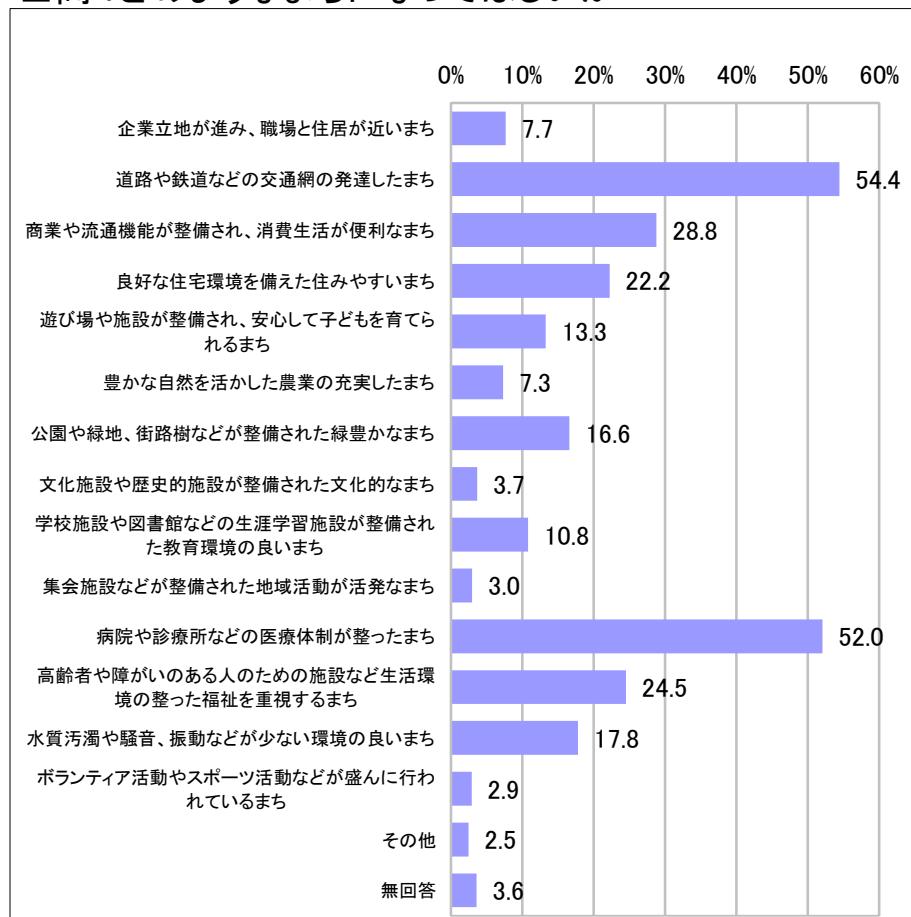


Ⅱ. 瑞穂町の将来像・現況評価

1) 将来のイメージ

将来どのようなまちになってほしいかについては、「道路や鉄道などの交通網の発達したまち」及び「病院や診療所などの医療体制が整ったまち」がそれぞれ5割となっている。

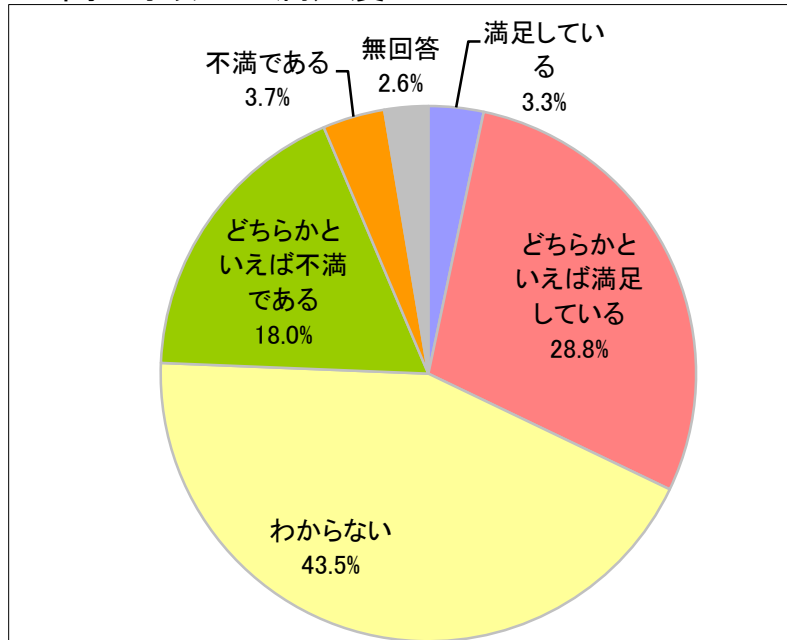
■問4どのようなまちになってほしいか



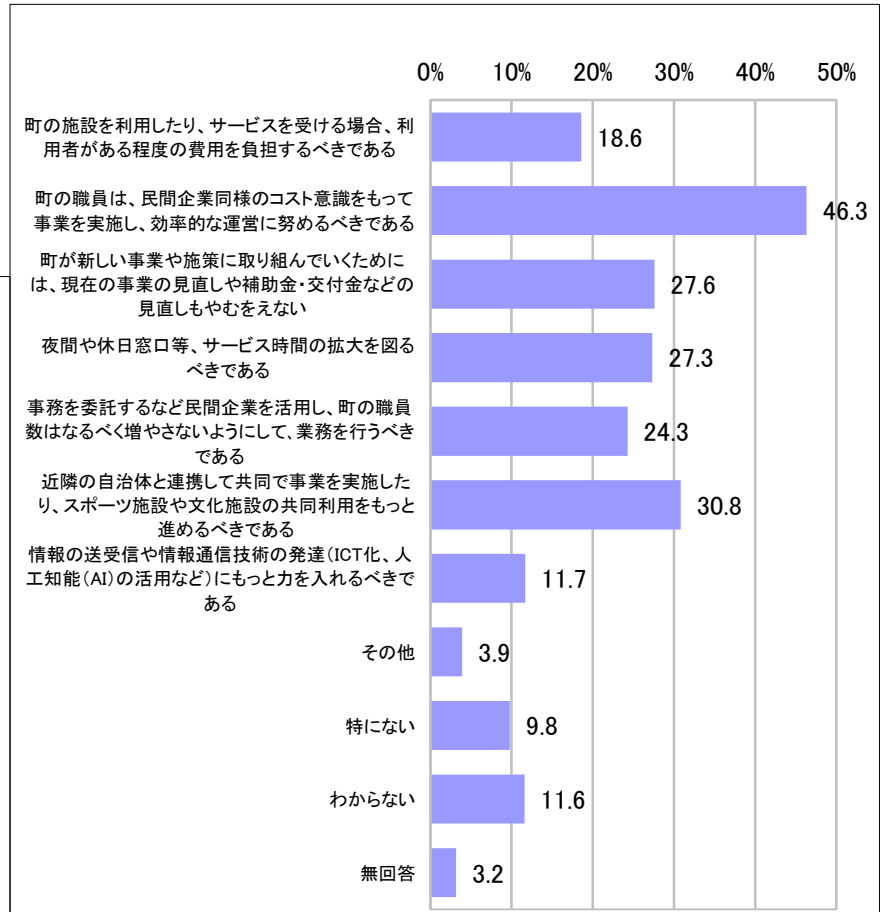
3) 町政への満足度

- ・町政への満足度は「わからない」最も多い。
- ・行政サービス推進上の重要な点は、職員が民間企業同様のコスト意識をもつこと、となっている。

■ 問7 町政への満足度



■ 問8 行政サービスを進める上で重要なこと



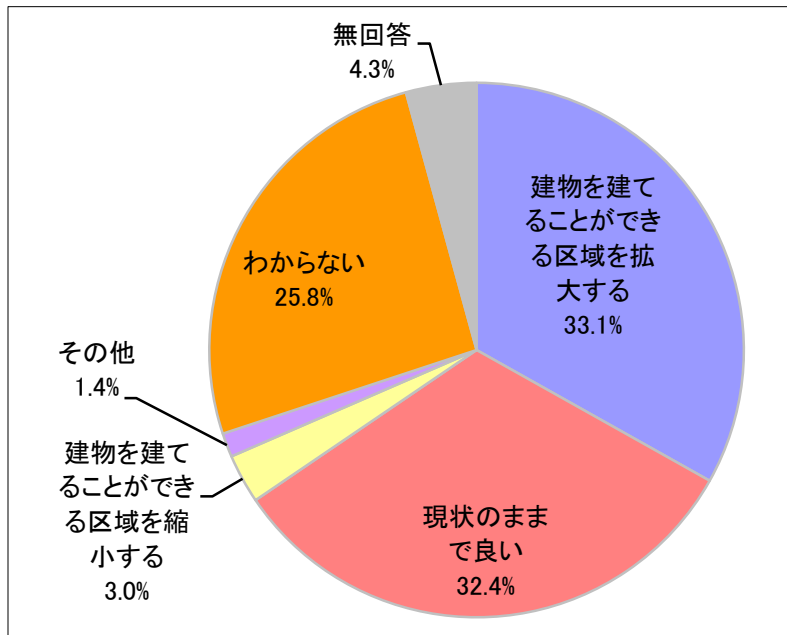
Ⅲ. 将来取り組むべきこと

1) 今後の土地利用

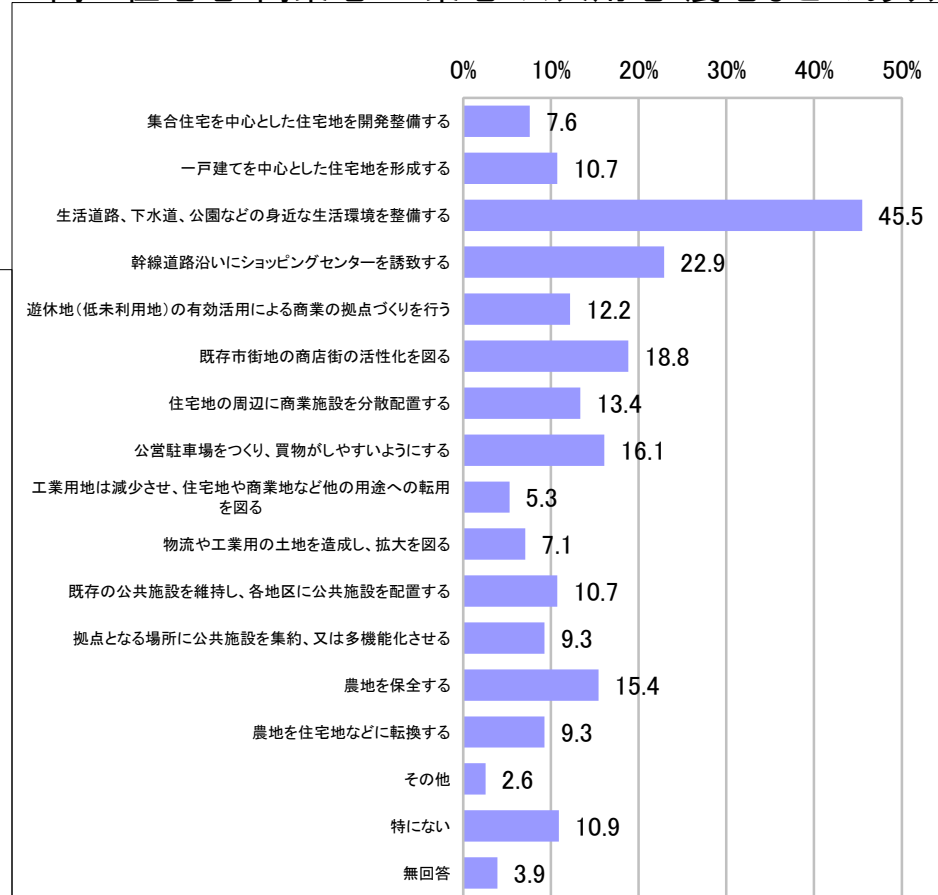
・「建物を建てることのできる区域を拡大する」と「現状のままで良い」が同程度の割合となっている。

・「生活道路、下水道、公園などの身近な生活環境を整備する」が5割となっている。

■ 問9 町内の今後の土地利用



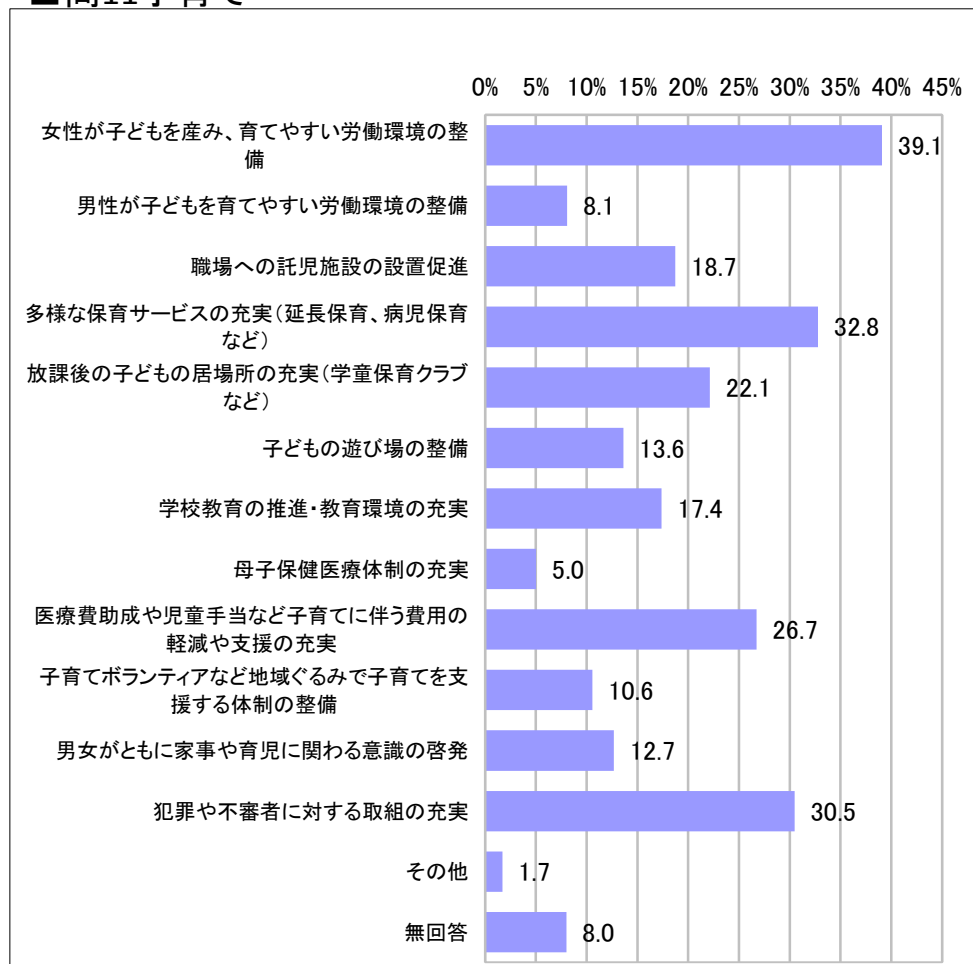
■ 問10 住宅地・商業地・工業地・公共用地・農地などのあり方



2)子育て環境

安心して子どもを産み、育てられる環境づくりを進めるために重要なものは、「女性が子どもを産み、育てやすい労働環境の整備」が最も多く、次いで「多様な保育サービスの充実(延長保育、病児保育など)」となっている。

■問11子育て



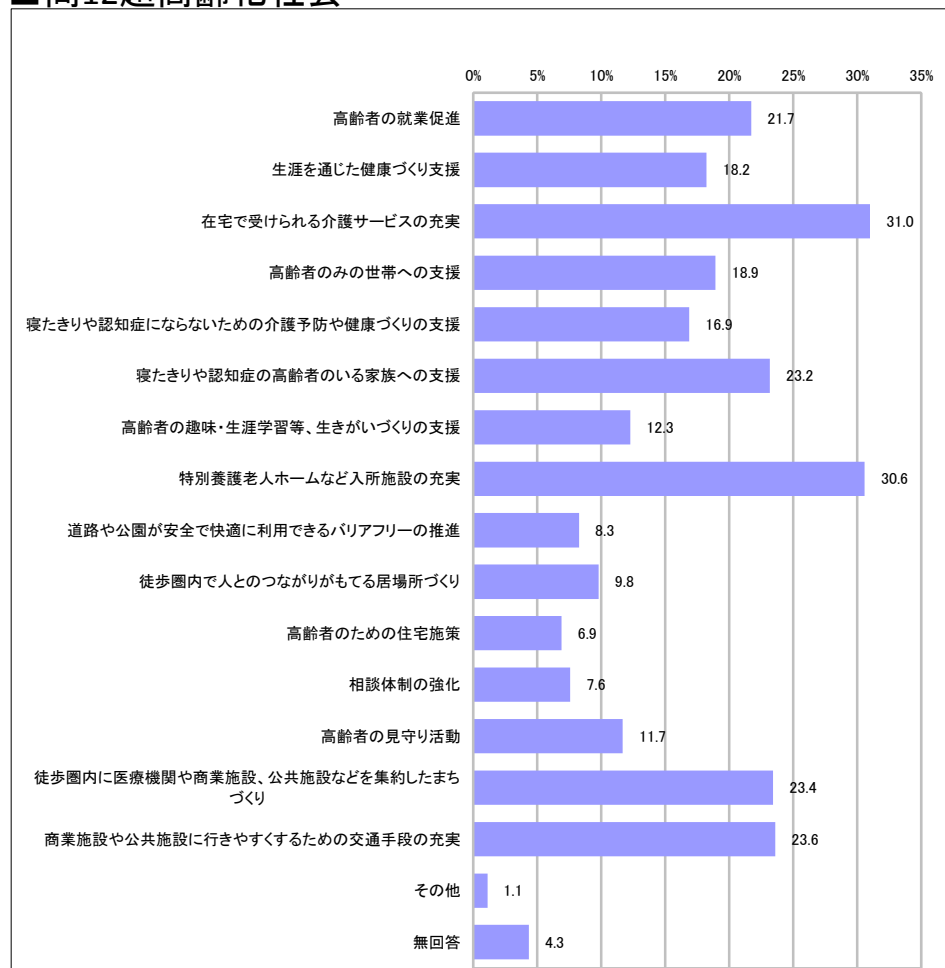
3)高齡社会における取組

超高齢化社会における取組の中で重要なものは、

「在宅で受けられる介護サービスの充実」が最も多く、

次いで「特別養護老人ホームなど入所施設の充実」となっている。

■問12超高齢化社会



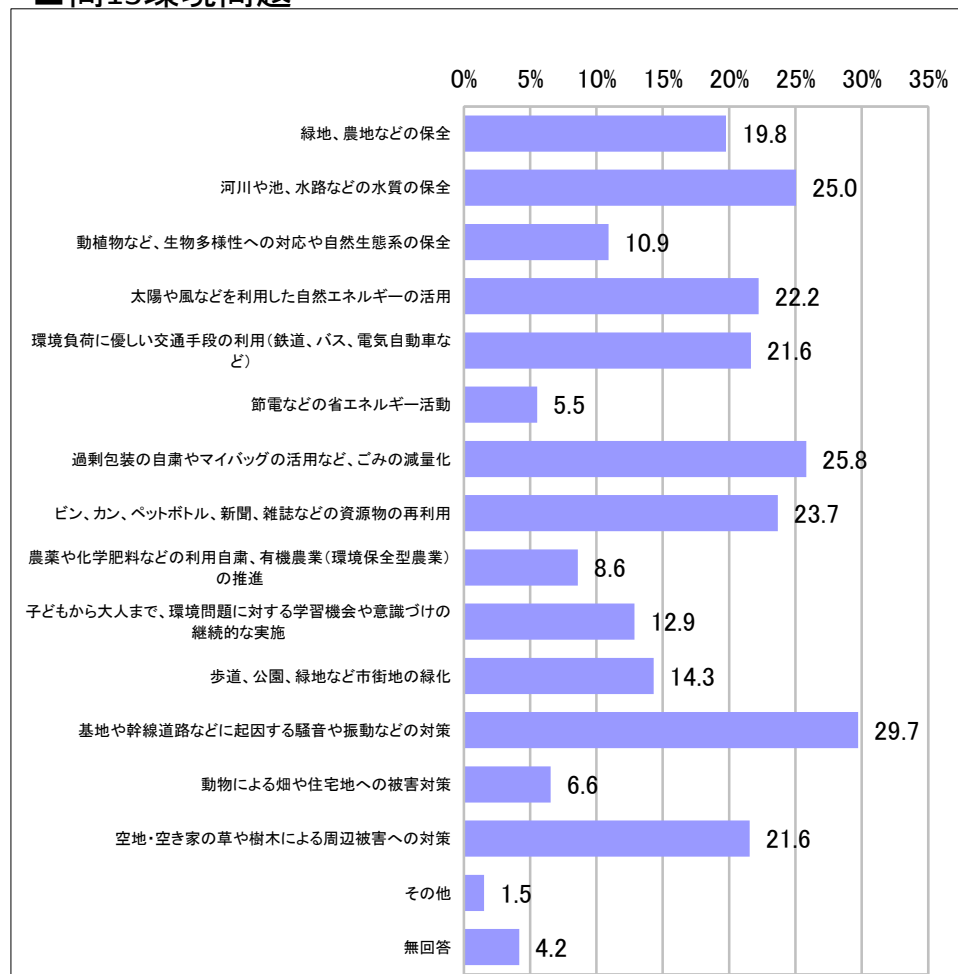
4)環境問題

環境問題への取組の中で重要なものは、

「基地や幹線道路などに起因する騒音や振動などの対策」が最も多く、

次いで「過剰包装の自粛やマイバッグの活用など、ごみの減量化」となっている。

■問13環境問題



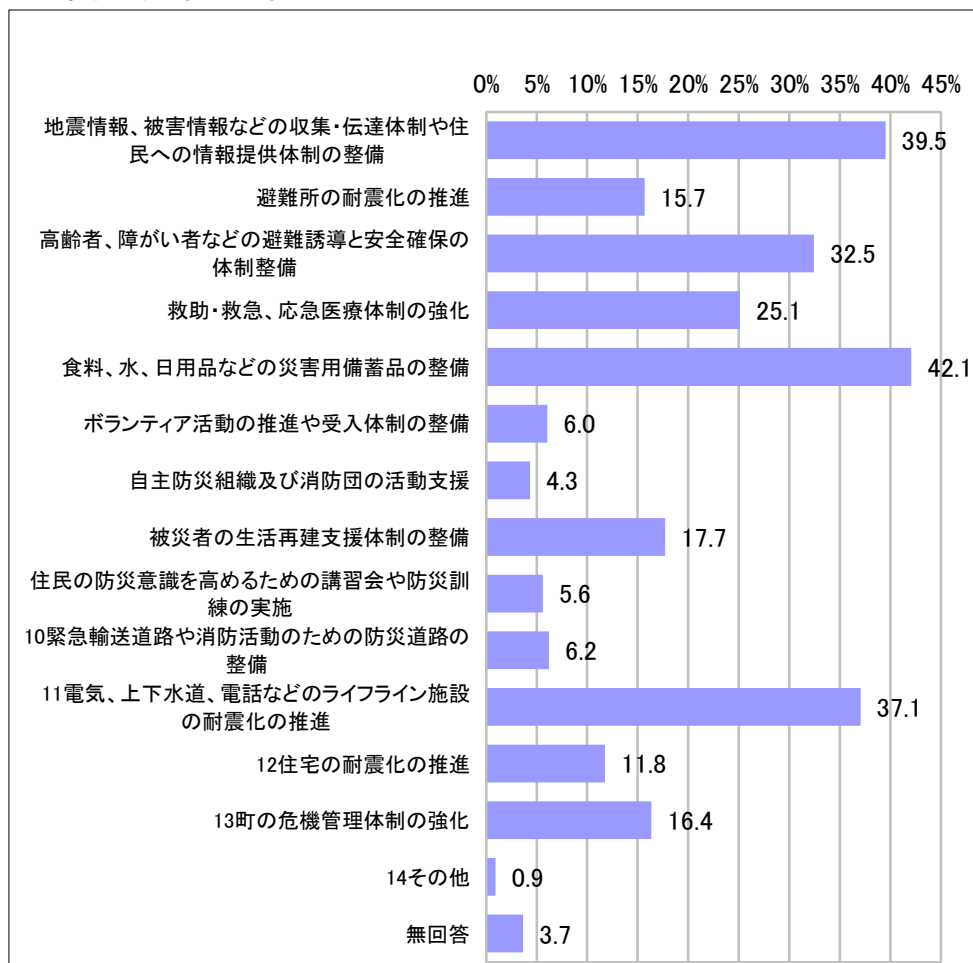
5)災害対策

今後の災害対策として重要なものは、

「食料、水、日用品などの災害用備蓄品の整備」が最も多く、

次いで「地震情報、被害情報などの収集・伝達体制や住民への情報提供体制の整備」となっている。

■問14災害対策



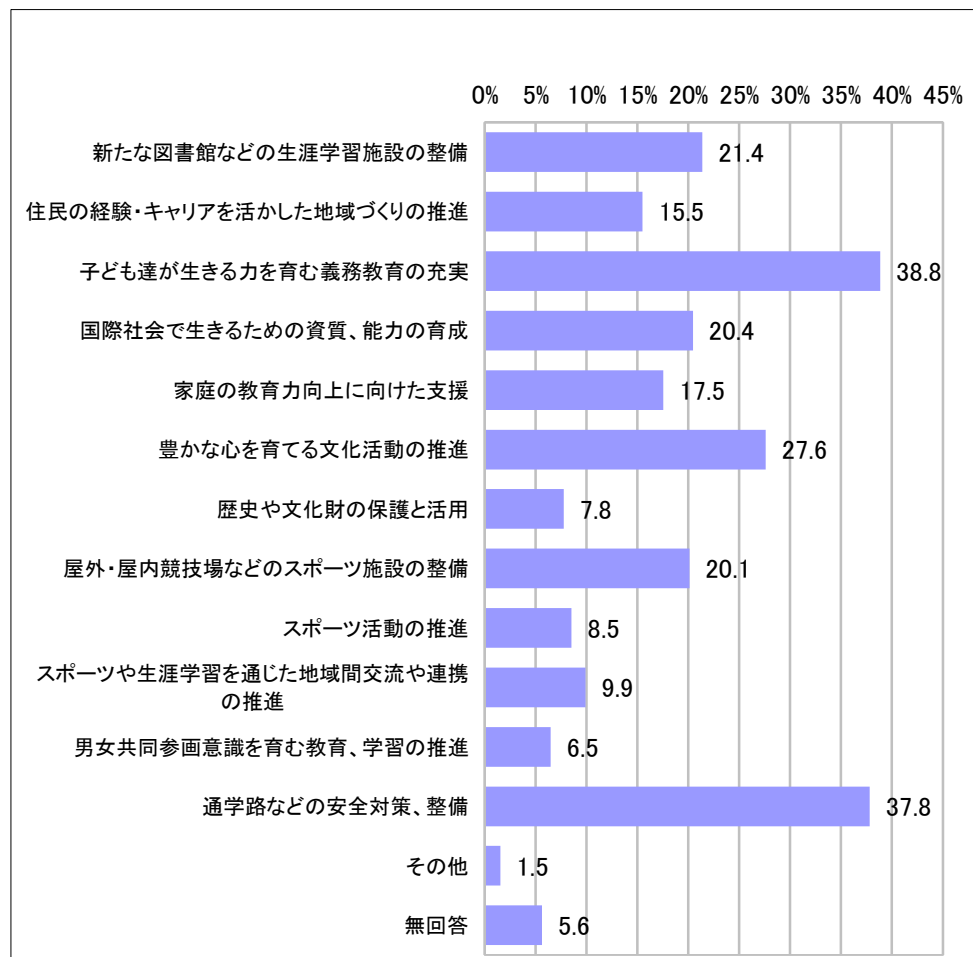
6)教育・文化

教育や文化などの振興について、重要なものは、

「子ども達が生きる力を育む義務教育の充実」が最も多く、

次いで「通学路などの安全対策、整備」となっている。

■問15教育や文化などの振興



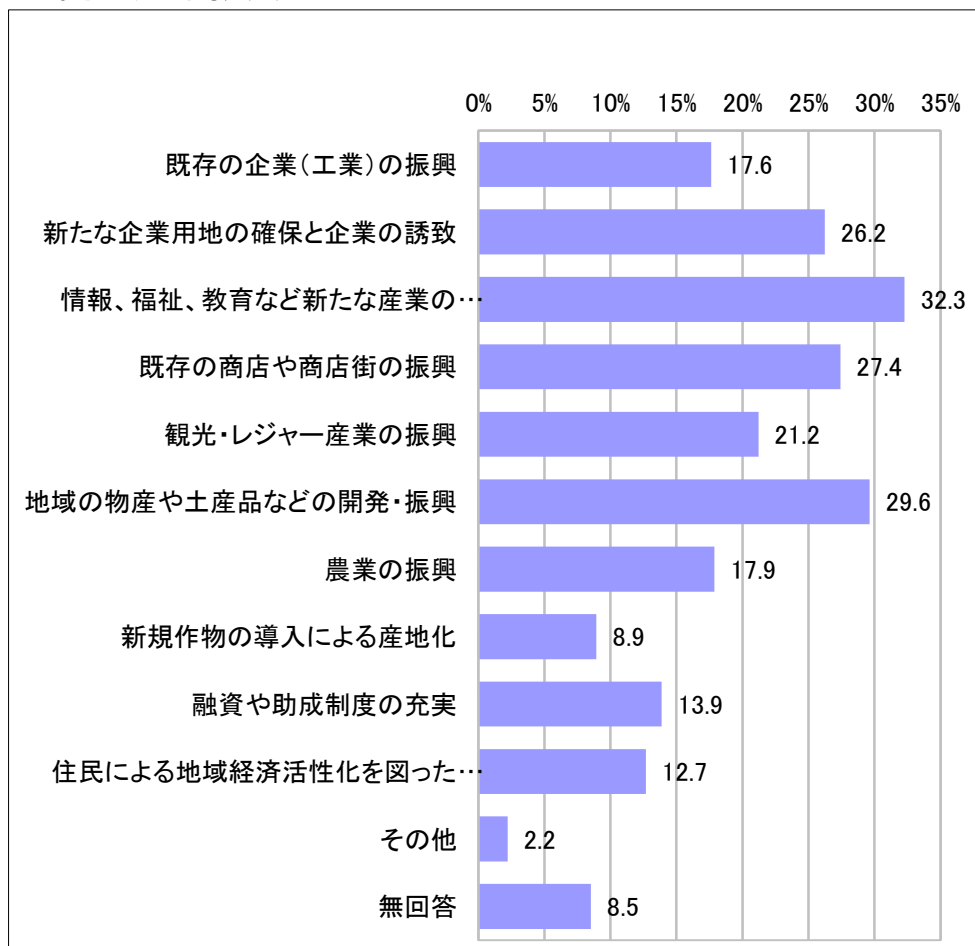
7)産業振興

産業振興について、重要なものは、

「情報、福祉、教育など新たな産業の誘致、育成」が最も多く、

次いで「地域の物産や土産品などの開発・振興」となっている。

■問16産業振興



IV. 住民と行政の役割

1) 住民参加

・地域づくりに関連して、自分自身はどのような活動をするかについては、

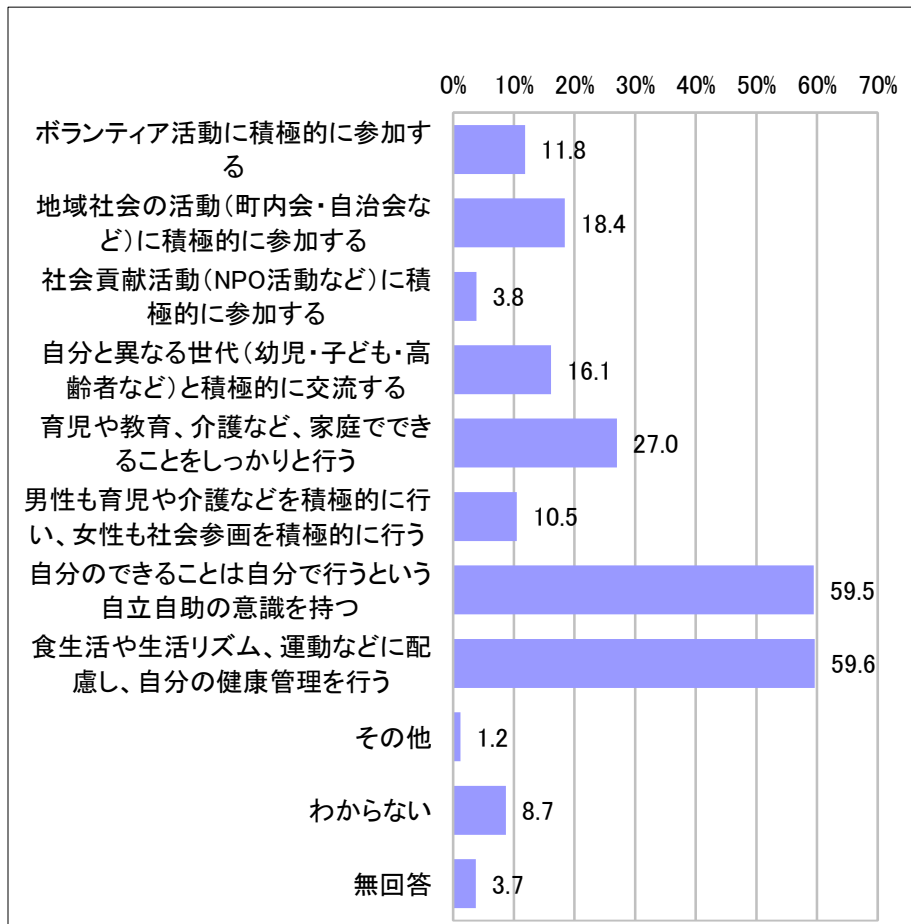
「食生活や生活リズム、運動などに配慮し、自分の健康管理を行う」

及び

「自分のできることは自分で行うという自立自助の意識を持つ」

が6割となっている。

■ 問17地域づくり



2)公共施設の活用

町の公共施設を効果的かつ効率的に活用するにあたり重視すべき点は、

「施設の利用方法について住民の意見を十分に取り入れ、町が運営する」が最も多く、

次いで「施設を町外の方にも利用しやすいようにして広域的に活用する」となっている。

■問20公共施設の活用

